



令和7年3月18日
練馬区立大泉学園中学校
保健室

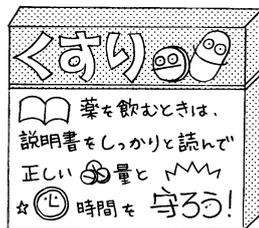
けがや病気の治療で使われる薬も、間違った使い方をすると薬物乱用や深刻な薬物依存になる危険性があります。覚せい剤や大麻などの違法薬物だけではなく、一般的な薬でも重大な健康被害があることを知り、薬を適切に使用しましょう。

* 薬を正しく使おう *

人からもらわない・あげない

医師が処方する薬は、年齢や体重、体質などを考慮して処方されたものなので、あげたりもらったりしてはいけません。

市販薬でも副作用が起きる場合があるので薬剤師さんに相談してから使いましょう。



決められた量や回数を守る

「早く効果を出したい」「効き目を良くしたい」「飲み忘れた」などの理由で、まとめて飲むと急性中毒になる危険性があります。

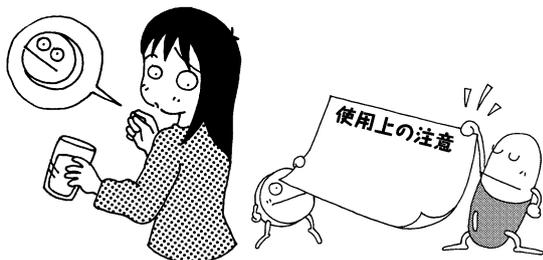
特に、飲み忘れた分をまとめて飲むとする人がいますが、体内の薬の量が急激に上昇し、副作用が出やすくなります。



水・ぬるま湯で飲む

牛乳やジュースなどで薬を飲むではいけません。

薬との組み合わせによっては、薬の効果が低下したり、副作用が出たりすることもあります。



使用期限を確認する

薬は化学物質なので、変質しやすい性質があります。

したがって、使用期限を過ぎた薬は劣化している可能性があり、効果が期待できないだけでなく、有害な影響を及ぼす危険性もあります。

安全のために使用期限を厳守し、使用期限が過ぎた薬は処分しましょう。

